



TBS テレビ、24 時間字幕付与システムで 放送文化基金賞 個人・グループ部門放送技術を受賞！

「ハイブリッド方式を用いた『TBS NEWS』24 時間字幕付与システムの開発」の事績が評価され、TBS テレビ技術局送出技術部 木村浩也が、第 45 回放送文化基金賞個人・グループ部門 放送技術を受賞しました。



災害などの重要な情報を、障がいを持つ多くの方に伝えるため、報道番組では、誤りのない正確な字幕を付与することが、近年大きな課題となっています。その課題に応える一つの取り組みとして、この度、24 時間報道チャンネル「TBS NEWS※」での字幕付与を実現するシステムを開発しました。

本システム開発においては、「アナウンサーが読むニュース原稿を字幕システムに取り込む方式」、「地上波ニュースで放送済み字幕を取り込む方式」、さらに「音声認識 AI を利用して字幕を生成する方式」の 3 つを併用したハイブリッド方式にすることによって、字幕の正確性・スピードアップ、運用のコストダウンを実現しました。

昨年 9 月の本システムの本格運用開始以降、大きなトラブルもなく、ニュースチャンネル 24 時間字幕放送を確実に実現したことが高く評価されました。

今回の開発では正確性の課題から音声認識 AI は補完的な活用となっていますが、今後は AI による認識精度を高めるとともに、運用コストダウンを図り、CS 放送以外でも字幕付与率を高めていきたいと考えています。

贈呈式は 7 月 2 日、ホテルオークラ東京にて行われる予定です。

※「TBS NEWS」とは

1998 年に開局した CS 放送向けニュース「TBS NEWS BIRD」がブランディング統一のため 2018 年 9 月に番組名変更を行った 24 時間ニュースチャンネル。現在では CS スカパー！をはじめ、全国ケーブルテレビ、JNN 各局の地上波放送、2K/4K BS 放送、インターネット配信などでサイマル放送されている。

以上

問い合わせ先: 技術局技術推進部(代表:03-3746-1111)